

第8章 環境部

環境課関係

1 環境審議会 の 開催

環境審議会とは、環境基本法第44条の規定に基づき、市の環境の保全に関する基本的事項を調査審議するためのもので、委員は15人で、その任期は2年（令和3年10月14日から令和5年10月13日まで）となっている。

日付	内容
R4.7.25	(協議事項) 第5次鹿沼市環境基本計画に関する進行管理について (報告事項) 第4次鹿沼市環境基本計画の令和3年度実績について (報告事項) 鹿沼市省エネエアコン定額制度について (報告事項) 第10期鹿沼市分別収集計画に関する進行管理について
R4.11.18	(報告事項) 「かぬまの環境（第4次鹿沼市環境基本計画令和3年度実績報告書）」について (報告事項) エコスクール事業について（前回質問への回答） (報告事項) 廃棄物処理手数料の見直しについて
R5.2.15	(報告事項) 鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の改正について (報告事項) 今後の放射能対策について (報告事項) 廃棄物処理手数料の見直し進捗状況について

2 環境学習の推進

(1) 夏休み特別講座の開催

「環境教育の推進に関する基本方針」に基づき、幼少期から環境活動を担う人材を計画的に育成することを目的としている。

ア ジェルキャンドル作り

開催年月日	開催場所	参加者
R4.8.2	情報センター	親子 6組15人
R4.8.20	情報センター	親子18組53人

イ 生きもの観察会

開催年月日	開催場所	参加者
R4.10.2	生きがいの森	親子17組46人

(2) 地域環境学習講座の開催

エコマイスターを講師とし、小学生以下の児童及び保護者を対象に開催した。講座の内容は、①講義、②ジェルキャンドル作り、③ゴミ分別テスト及び④バス乗り方講座であった。

開催年月日	開催場所	参加者
R4.12.11	南押原コミュニティセンター	親子18組49人

(3) 環境学習基本講座

「かぬま」の環境や環境問題等に関する基礎知識の習得及び環境教育の指導者となる人材の育成を目的としている。

開催年月日	開催場所	参加者
R4.12.21	環境クリーンセンター	11人
R4.12.23	情報センター	4人

(4) 環境学習副読本の配付

市内の全ての小学校に830冊を配付した。副読本の内容は、小学4年生を対象としているが、5年生及び6年生も使用可能なものである。

3 公害対策

(1) 公害苦情等取扱件数

区分	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	計
申立件数	54	6	11	2	15	160	248
解決件数	54	6	11	2	15	160	248

(説明) 大気汚染は野焼き、騒音・振動は工事、建設機械、悪臭は肥料等、その他は不法投棄、雑草の管理がそれぞれ主なものであった。

(2) 水質汚濁防止

特定事業場の排水について、下記の通り水質調査を実施した。

R5.3.10	鹿沼工業団地	10事業所、1総合排出口 16検体・30項目(臭気4項目を含む)
	宇都宮西中核工業団地	1事業場 1検体・8項目

(3) 大気汚染防止

ア 大気汚染常時監視

県内37観測網の一環として、県が市役所に観測機器を設置し、次表の項目について自動観測をしている。

観測局種別	測定項目 観測局地点	炭化水素		浮遊粒子状物質	窒素化合物		オキシダント	気象	
		メタン	非メタン		一酸化	二酸化		風速	風向
環境観測局	市役所	○	○	○	○	○	○	○	○

イ 光化学スモッグ対策

緊急時予報・注意報が発令された場合、鹿沼市光化学スモッグ対策要綱に基づく連絡網により、関係者に連絡するほか、市内要所に立看板の掲出などの依頼を行う。

光化学スモッグ注意報発令件数	県中央部 1件	鹿沼市 0件
----------------	---------	--------

(4) 騒音・振動・悪臭防止

ア 交通騒音・振動調査

交通騒音調査(上殿、深津、千渡)を2月に1回実施した。

イ 工場等の騒音指導

苦情申立による事業場等から発生する騒音に対して随時指導した。

ウ 畜産農家・工場等の悪臭指導

苦情申立による堆肥製造場や工場等から発生する悪臭に対して随時指導した。

(5) 地下水汚染対策

栃木県地下水汚染対策要領に定める基準値を上回る指定物質が検出され、地下水汚染が生じた場合に、家庭用浄水器の設置補助金を交付する。

補助対象は、自ら居宅する住宅に、指定物質を除去できる家庭用浄水器を設置する場合で、その補助率は設置費の2分の1以内であり、かつ、70,000円を上限とする。

設置補助申請件数	補助件数	補助金額	補助累計(H2~R4)
1件	1件	70,000円	110件

4 環境保全対策

(1) 公共用水域水質調査

8月、2月 水生生物調査（12河川・21地点）（令和4年度未実施）
（水生生物は、主にカワゲラやヒルなどをいう。）

8月、2月 理化学調査（12河川・21地点）

(2) 地下水水質調査

8月、2月 定期調査（17箇所）

8月、2月 汚染地区調査（13箇所）
（過去に地下水汚染が発生した地域のモニタリング調査）

(3) ダイオキシン類環境調査

8月、2月 大気（1箇所）

(4) 土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例に基づく許可

申請件数	許可件数	取下げ等件数
65件	65件	0件

(5) 土採取事業規制条例に基づく許可

申請件数	許可件数	取下げ等件数
55件	55件	0件

5 きれいなまちづくり

(1) きれいなまちづくりへの取組

ア きれいなまちづくり推進員

地域の環境活動のリーダーとして、自治会250世帯ごとに1人の割合できれいなまちづくり推進員を委嘱

(ア) きれいなまちづくり推進員会議の開催 全体会議は新型コロナの影響により書面開催、支部長会議3回及び各支部での活動

(イ) きれいなまちづくり推進員協議会の活動支援

(ウ) 地域環境ネットワーク事業の実施及び地域別環境配慮行動計画の進行管理

イ 花いっぱい運動補助

地域住民によるプランター等を活用した花いっぱい運動を対象に補助金（事業費の50%以内、上限3万円）を交付することにより、地域の環境美化を推進した。

ウ きれいなまちづくり標語募集

市内の小中学校から、きれいなまちづくりに関する標語を募集するもの。審査は環境活動推進会議に委託し表彰のうえ、優秀作品を市内各所に掲示した。

エ 春・秋の環境美化の日

班回覧により市民に周知し、5月15日・9月18日の日曜日に市内各所において実施した。

オ きれいねっと鹿沼（鹿沼市版アダプト・プログラム）

公共の場を養子、その区域の清掃管理等を行う団体等を里親と見立て、市がその活動の支援を行う事業（参加者の保健加入、清掃用具の支給）であり、22団体（令和5年3月31日現在）が活動している。

カ 花壇コンクール

市内で花いっぱい運動を展開している団体・個人から応募のあった花壇について審査し表彰するものである。

(2) クリーン鹿沼実践事業

ア 市民と協力してクリーン鹿沼事業を23回実施した。

イ ミニクリーン鹿沼を152回実施した。

不法投棄物の撤去量の推移

(単位：トン)

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2	R 3	R 4
ク リ ー ン 鹿 沼	4.3	7.7	8.5	8.3	6.3	2.52	2.26	2.73
ミニクリーン鹿沼	13.1	10.8	11.8	12.7	6.3	10.04	8.48	8.49
計	17.4	17.5	20.3	21.0	12.6	12.6	10.7	11.2

ウ 不法投棄者等への対応状況

(ア) 不法投棄者への対応

対応内容	件 数	計 0 件
口 頭 指 導	0 件	
始 末 書 聴 取	0 件	
警 察 へ の 通 報	0 件	
そ の 他	0 件	

(イ) 不法焼却者への対応

対応内容	件 数	計 35 件
口 頭 指 導	35 件	
始 末 書 聴 取	0 件	
警 察 へ の 通 報	0 件	
そ の 他	0 件	

6 もったいない運動の推進

(1) 三つの取組

もったいない運動を推進する市民会議として「環境活動推進会議」を計6回開催したほか、ペットボトル飲料キャップ2,209,357個(重量は5,138kg)を回収した。

(2) イベントでの周知活動

エコライフ・フェア in 西大芦を9月11日に開催した。川遊び客等によるごみの投棄が深刻化していることを踏まえ、参加者の問題意識の共有及び環境保全への意識向上を図るため、ごみ拾い及びもったいない運動の啓発を行った。当日は、143名が参加した。

また、令和5年2月19日に「いちごのもり」に出展し、ごみの分別徹底及びもったいない運動について、ごみ分別クイズを通して啓発を行った。

7 低炭素化促進設備の導入促進

低炭素化促進設備導入報奨制度

太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備を設置する家庭を対象に、その設置費の一部を次の表のとおり報奨金として商品券で支給した。

(1) 対象設備及び報奨金の額

対象設備	報奨金の額
太陽光発電 (出力が10kW未満のものに限る。)	一律 3万円
リチウムイオン蓄電池 (設置費50万円以上のものに限る。)	一律 4万円
ZEH	一律15万円

(2) 報奨金の支給実績

対象設備	支給件数	報奨金の支給額
太陽光発電	33件	990,000円
リチウムイオン蓄電池	66件	2,640,000円
ZEH	12件	1,800,000円
合計	111件	5,430,000円

※上記の報奨金のほか、環境省モデル事業として、「省エネエアコン定額利用制度」を実施した。

項目名	内容
事業概要	市民が5年間定額の使用料を支払うことで、パナソニック社製の高性能エアコンを利用することができる制度。本市は、熊谷市、パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社及びトラストワン株式会社と共同で事業を実施した。
対象機種	エオリア 2022年モデル。CS-X222D (6畳用)、CS-X282D (10畳用)
月額使用料	1,800円 (6畳用)、1,900円 (10畳用)
設置台数	175件 (うち65歳以上148件、18歳以下世帯27件)
申請件数	254件

8 省資源、省エネルギーの推進

市民の環境への認識を深めるため、環境活動推進会議との協働により、環境情報紙「ecoの環—エコのわ—」を広報かぬまに掲載した。

号数・発行日	内容
第17号 3月号	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却に伴う二酸化炭素排出量の内訳 粗大ごみ処理施設基幹的設備改良工事 未来へつながるエコライフ エコライフ4コマまんがコンテスト、きれいなまちづくり標語、「かぬまの環境」イメージイラスト 最優秀作品の照会

9 地球温暖化対策

(1) 第5次環境基本計画の策定

令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間として、第5次環境基本計画を策定した。策定に当たっては、次に掲げる新たな見地、要素等取り入れた。

ア SDGsの考え方

誰ひとり取り残さず、経済、社会及び環境の調和を図りながら持続可能な社会の実現を目指す考え方を取り入れた。

イ ゼロカーボンの実現

2050年におけるゼロカーボン社会の実現するため、「ゼロカーボンのまちをつくる」を基本目標の1つとして掲げた。

ウ 気候変動適応計画の策定

気候変動による様々な脅威から「市民のいのち」を守るため、本市の現状及び将来予測、対策の方向性等を定める「鹿沼市気候変動適応計画」を策定した。

(2) 気候非常事態宣言の表明

気候変動による様々な脅威から、市民のいのち、かぬまの環境及び産業等を守るため、令和3年4月1日に、「鹿沼市気候非常事態宣言」を表明した。

(3) 地球温暖化対策の取組

地球温暖化対策実行計画に基づき、市域における温室効果ガスの排出の抑制等を行うことで、地球温暖化対策の推進に取り組んでいる。

ア 本市が事業者として排出する温室効果ガスの総量（二酸化炭素換算）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
排出量(トン)	26,401	28,616	26,514	29,127	30,418	26,646

イ 市域全体における温室効果ガスの総排出量（二酸化炭素換算）

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
排出量(トン)	757,000	729,000	737,000	724,000	706,000	679,000

※令和2年12月に国の統計データ公表数値の変更があったため、ア及びイの排出量について、過年度数値の再計算を実施した。

※イの算出に当たっては、環境省が全国統一的に把握するための標準的手法である「自治体排出量カルテ」の数値を用いて算出しています。過年度の実績についても再計算をしています。(最新値は令和2年度)

10 放射能汚染対策

(1) 農林産物等の放射性物質測定

販売用及び自家消費用の農林産物等55件の放射性物質を測定し、これらの結果を市ホームページ等で公表することにより、市民生活の安全・安心の確保に努めた。

11 動物愛護事業

狂犬病予防法に基づき、犬の登録・鑑札の交付、狂犬病予防注射済票の交付を実施する。その他、犬猫の適正飼養の普及啓発、苦情相談などの対応に当たる。

(1) 犬の登録 1頭につき、生涯に1回登録する。

(2) 狂犬病予防注射 1頭につき、毎年1回実施する。(春季・秋季に集合注射実施)

項目	区分	集合注射 (4月・10月)	その他	計	令和4年度末現在登録頭数 4,797頭
犬の登録		17頭	272頭	289頭	
狂犬病予防注射		1,123頭	2,483頭	3,606頭	

(3) 犬猫不妊手術費助成件数(手術1件当たり メス犬:5,000円 メス猫:4,000円)

メス犬	メス猫	計
65件	200件	265件

※平成29年10月から実施

1 2 再生可能エネルギー発電施設設置事業

鹿沼市自然環境等と再生可能発電設備の設置事業との調和に関する条例の基づき、設置の許可や届出の受付を行った。

(1) 許可件数

年度	許可申請	変更申請	許可件数	面積(m ²)	想定発電量(kw)
H 3 0	0	0	0	0	0
H 3 1	0	0	0	0	0
R 2	9	0	7	8,845	735,000
R 3	13	0	15	13,663	890,945
R 4	5	3	8	11,859	1,618,000

(2) 届出件数

年度	届出件数	変更届	面積(m ²)	想定発電量(kw)
H 3 0	34	0	203,479	12,100,142
H 3 1	23	0	858,865	4,467,419
R 2	55	1	276,620	8,789,575
R 3	41	1	230,165	5,908,578
R 4	18	3	189,667	12,834,231